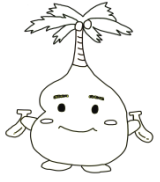


大 王 や し 

発行所 台中日本人学校(台中市日僑学校) 電話

ホームページ <http://tjs.ehosting.com.tw/>

e-mail tjs97@ms18.hinet.net

FAX

校長室より

集団の中で生きること

校長 松尾功子



水泳記録会が終わると、台中校の夏も終わったと感じます。プールに静けさが戻り、水の循環装置が止まり、プールの底を掃除するドルフィン君もメンテナンスへ出かけました。

朝夕はずいぶん涼しくなり、畑のへちまやゴーヤーは大きな実をつけました。一つの区切りをつけ、子どもたちは、次の目標である学習発表会へ動き出しました。

昼休みには、異学年対抗でドッジボールをしたり声を掛け合って学年が混じって遊んだり、楽しく遊んでいる様子が見られます。

まだまだ汗びしょりになって昼休みから帰ってくる子どもたちです。暑くても、体を動かすことの気持ちよさ、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさを心と体に刻んでほしいと思います。この時期のこの経験が、この後の人生に大きく関わってくると思います。

年上の子が年下の子の面倒を見るという、当たり前のようなことですが、なかなか難しいことです。わがままな年下の子に優しくするというのは、いくつかしか年齢の変わらない子どもたちにとっては、自分の気持ちを抑え、相手の希望を叶えるために努力しなければならないという大変な仕事です。それでも、台中校の子どもたちは、年下の子どもたちに優しく接してくれます。

8月末の宿泊学習でも、中1生が小5・小4の子どもたちのお世話を一生懸命にしてくれました。今年も、中1生が作ってくれたカレーをみんなで食べるプログラムも組み込まれていました。誰かのためにカレーを作る。上級生の作ってくれたカレーを食べる。こんな簡単なことではありますが、子どもたちにとっては、誰かのために行動する、誰かの行動に感謝して食べさせていただくという、良い体験になっていると考えます。

中1・小5・小4の子どもたちは、キャンプファイヤーの火を見つめ、何を思い何を学んできたでしょうか。作文を見ると、子どもたちなりに相手のがんばりや思いやりを認め、感謝する部分が多く書かれてありました。そして、自分の成長も実感したという、実り多い1泊2日の宿泊学習であったことがうかがえる内容でした。異学年で行事を行うことは、大変なことが多いのですが、それ以上の体験と学びを子どもたちに与えてくれたものと思います。

宿泊学習として1泊2日過ごすことは、自分の思うようにできない窮屈さ不自由さがあったと思いますが集団の中で、人と関わって生きていくことの大変さと楽しさを実感してくれたことと思います。

～子どもたちの作文から～

☆小学部4年生 西東蒼真

ぼくは宿泊学習の日が楽しみで、前日の日記に「もう心が爆発しそうです。」と書きました。そしていよいよ宿泊学習当日。ぼくは、気絶してしまいそうなくらいわくわくしていました。(略)

そして、楽しみにしていたカレー。ぼくは、じゃがいもがとてもきれいです。けれど、みゆちゃんとはるきちゃんに「すききらいせずに食べなさい。」とお母さんみたいに言われて、がまんしてじゃがいもをつぶし、米と混ぜて食べました。でも、そのあと、気持ち悪くなりました。けれども、中学1年生が一生けんめい作ってくれたカレーは、とてもおいしく、たいへんさがつたわってきました。(略)

まだまだ楽しかったことはあるけど、話し出したらきりがないので残りは、自分の目で確かめてください。とても楽しい所なので、ぜひ行ってみてください。

☆小学部5年生 高橋健

今回の宿泊学習は、去年と違い副班長として班をまとめ、班長の手伝いをしなければならない。そう思いながら臨んだ。

1日目、僕はウォークラリーで先を急いで、ちょっと歩くのが遅い人に、「速くして。」などと何回も言ってしまった。でも、後で考えて、みんなの歩く速さは違うのにあんなことを言ってしまって、すごく反省している。今は、もっと歩く速さに合わせてあげればよかったと思っている。(略) ぼくが次に宿泊学習に行く時は、中1なので今年のようにわがままを言わず、班をまとめられる。



進路情報

中学部の3年生では多くの生徒が進路希望先を絞り込みつつある状況です。中には受験校を決定し、すでにその準備を始めている生徒もいます。学習にも一段と熱がこもってきている状態で、9月22日(土)授業参観後の午後には早稲田渋谷シンガポール実力テストを受験する中学部3年生もいます。8月から10月にかけては日本の高等学校や中学校の情報が次年度入学者対象のものに作り替えられていく時期です。ぜひ、いろいろな方面からの情報収集をされて、ご家族で話し合う際の参考になさってみてはいかがでしょうか。

本校に届いた学校案内

- ・大妻多摩中学高等学校(東京都)
- ・東京都市大学等々力中学校・高等学校(東京都)
- ・法政大学第二中・高等学校(神奈川県)
- ・駿台甲府高等学校(山梨県) 台北受験が可能です。
- ・目白研心中学校・高等学校(東京都)
- ・東京学芸大学附属国際中等教育学校(東京都)
- ・桐光学園中学校・高等学校(川崎市)
- ・札幌日本大学高等学校(北海道)
- ・土浦日本大学高等学校(茨城県)
- ・立命館宇治中学校・高等学校(京都府)
- ・啓明学院中学校・高等学校(兵庫県)シンガポール入試あり
- ・国際高等専門学校募集要項(石川県金沢)
- ・早稲田渋谷シンガポール校生徒募集要項(シンガポール)台北受験が可能
- ・法政大学国際高等学校(神奈川県横浜市)
- ・京華女子中学・高等学校(東京都)
- ・恵泉女学園中学・高等学校(東京都)
- ・東京都市大学付属中学校・高等学校(東京都)
- ・聖園女学院中学校(神奈川県)
- ・横浜女学院中学校高等学校(横浜市)
- ・森村学園中等部高等部(神奈川県横浜市)
- ・ICU(国際基督教大学)高等学校(東京都)
- ・明星学園高等学校(東京都)

情報案内

- ・帰国子女・海外子女のための教育情報サイト
「JOBA 海外・帰国子女のための受験・教育情報」

※ぜひ一度ご覧ください。有意義な情報がたくさん見つかると思います。



保健だより



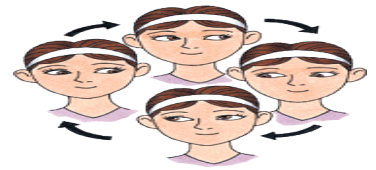
台中日本人学校
保健室






こんげつ ほけんもくひょう
今月の保健目標

たいせつ
目を大切にしよう。



目の体操をしましょう!



<p>①</p>  <p>めせん うえ 目線を上に びょう 2秒</p>	<p>②</p>  <p>めせん した 目線を下に びょう 2秒</p>	<p>③</p>  <p>めせん みぎ 目線を右に びょう 2秒</p>	<p>④</p>  <p>めせん ひだり 目線を左に びょう 2秒</p>	<p>⑤</p>  <p>ギュッと閉じて パッとひらく</p>
--	--	--	--	---



「学校の先生」という仕事について——雑感

久保 壮史

自分の仕事というものについて、私はいったいどれくらい理解ができているのだろう。そんなことに考えを巡らせていると、ついついとめのないものになってしまいます。今回、大王やしの紙幅を割いて、ペンリレーの役割をいただけることができました。以下に紹介する3つの文章は、私が過去に同僚に向けて発信するために、毎週書き溜めていたものの中から、抜粋し再構成したものです。私の考える「学校の先生」という仕事について、少々お付き合いいただければと思います。

「プロフェッショナル」

以前、若手落語家の活動の様子を追ったドキュメンタリー番組を見たことがあります。その内容はとても興味深く、今でもよく覚えています。落語には古くから伝わる古典落語と、現代的な要素を含んだ創作の新作落語に大別されるそうです。番組の中で特に印象に残っているのは、若手の噺家が新作落語を披露する場面です。安易に下品な内容に走り、笑いを取ろうとする様子が紹介されていました。演目の終了後、師匠の春風亭昇太から呼びだされたその若い噺家は、厳しい指導を受けたのでした。場面が切り替わり番組の進行役である林家たい平が現れると、先輩噺家から教わったこととして次のような言葉を紹介していました。

『自分のやりたいことをやるのは素人がやること。場の空気を読み、お客の望んでいるものを感じ取り、それに合わせて演目を提供するのがプロフェッショナルの仕事なのですよ。』

授業と落語、教師と噺家、教室と高座。学校と落語の世界は全くの別物のようですが、「言葉」という手段を中心にして仕事をしているという意味では、実は共通点が多いのではないのでしょうか。子どもたち一人ひとりの様子や課題を把握し、個に応じた適切な指導を行うことや、合理的な配慮により子どもたちが安全に安心して過ごすことができる環境づくりなど。私たち教師のあるべき姿は落語界の先人が伝えていることと重なる。そう強く感じました。番組を見終わった後、自分の持っている引き出しの少なさを痛感しつつ、改めて「プロフェッショナル」を目指すべく日々精進していこうと思ったのでした。

平成 28 年 12 月

「学校へ通う理由」

児童理解についての研修会に参加した時、講師から受講生に対して、子どもたちが学校へ来る意義について問いかけられたことがありました。教師をしていけば誰も一度は「どうして勉強してするの?」「なんで学校に通うの?」と子どもから問いかけられたことがあると思います。そんな時、皆さんはどのようにお答えでしょうか。その講師は答えの一つとして大江健三郎の作品『『自分の木』の下で』の一節を引用されていました。

『いま、光（大江さんの長男 大江光さん）にとって、音楽が、自分の心のなかにある深く豊かなものを確かめ、他の人につたえ、そして、自分が社会につながっていくための、いちばん役に立つ言葉です。それは家庭の生活で芽生えたものでしたが、学校に行って確かなものとなりました。国語だけじゃなくて、理科も算数も、体育も音楽も、自分をしっかりと理解し、他の人とつながっ

ていくための言葉です。外国語も同じです。そういうことを習うために、いつの世の中でも、子どもは学校へ行くのだ、と私は思います。』

教師を続けていると漫然と児童理解についての経験知が増えてきたかなと思っていたのですが、これまでに受講した数々の研修を通して、それらが確かな言葉となってきているように感じています。いくつになっても学ぶ意義はあるものだと思いますが、きっと子どもたちも日々の学校生活の中で同じような経験をしているのではないのでしょうか。

平成 29 年 2 月

「不快な感情の扱い」

登校時間の校門では、元気な挨拶とともに通り過ぎていく子どもたちがほとんどなのですが、中には目に涙をいっぱいためて母親の手を握っている子や、登校中に友達とけんかになり、怒りに身を震わせながら歩いてくる子もいます。担任の先生が話を聞いたり声をかけたりすると、そのような子どもたちは大抵の場合気持ちを切り替えることができ、一日を前向きにスタートさせることができます。

先日、昭和大学病院の院内学級で担任をされている副島賢和先生のお話を聞く機会がありました。体や心に様々な不安を抱えた子どもたちと日々接している先生は、子どもたちの「不快な感情」について次のように話をされていました。

『怒りは他者や周囲に変わってほしいという願い、悲しみは苦境を分かち合ってほしい、助けてほしいという訴えというようにとらえることができます。不快な感情も一種のエネルギーです。人生を前向きに生きていくエネルギーとして高めていくためには、感情を出してもよいということをはっきりとわかってあげる必要があります。そして教師の役割は子どもたちの不快な感情も受け止め、言葉で表現できるようにしてあげることなのですよ。』

とかく「不快な感情」について、大人は否定的にとらえてしまうのではないのでしょうか。しかし子どもたちがさまざまな感情を自然に出せるようにすることで、心をほぐし教師との信頼関係をより深めていくことができるのだらうと思いました。

平成 29 年 5 月

平成30年度(2018年度)

10月学校行事予定表(案)

生活目標 『思いやりのある言葉遣いをしよう』



保健目標 『目を大切にしよう』

日	曜	週	児童生徒行事	下校バス発車時刻												
				小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学部						
1	月	A	中学部：中間テスト(1校時～5校時)委員会⑥ ステージ練習開始													
2	火	A	部活動⑩													
3	水	A	小1・2：陽明國小交流													
4	木	A														
5	金	A	中1：職場見学(旭硝子)部活動⑫													
6	土		英検②一次													
7	日															
8	月	B														
9	火	B	小1・2生活科校外学習(雨天時16日) 集金日(10・11月) 部活動⑬													
10	水		国慶節													
11	木	B	小3：地域探検(秀山里) 中：生徒会選挙投票日													
12	金	B	中：生徒会選挙結果発表 部活動⑭													
13	土															
14	日															
15	月	A	全校朝会(多読賞表彰)④													
16	火	A	部活動⑮													
17	水	A														
18	木	A														
19	金	A	マラソン事前医師診断 部活動中止(秋祭り準備時間設定)													
20	土		秋祭り													
21	日															
22	月	B	短縮日課8時間授業(小1～4⇒6校時 小5～中学部⇒8校時) 学習発表会係会①													
23	火	B	学習発表会リハーサル 部活動中止													
24	水	B														
25	木	B														
26	金	B	学習発表会前日準備 学習発表会係会② 部活動中止													
27	土	B	学習発表会													
28	日															
29	月		振替休業日													
30	火	A	マラソン・読書強化月間開始 部活動⑯													
31	水	A	中：大雅國中交流会(訪問)													

11月の主な行事



1日(木)小6：修学旅行説明会	15日(木)小3：社会科見学(店舗見学)
5日(月)全校朝会(作文・学級代表交代式) 芸術鑑賞(浄瑠璃) 委員会活動⑦	17日(土)中：SOGO太鼓 19日(月)マラソン記録会予行(雨天翌日) 小：委員会活動⑧
6日(火)午前：インフルエンザ予防接種	21日(水)～23日(金)小6：修学旅行
6日(火)～8日(木)中3進路面談	23日(金)英単語コンテスト
7日(水)小：汝漆國小交流会(訪問)	26日(月)・27日(火)中：2学期期末テスト
8日(木)・9日(金)授業参観日	28日(水)外清掃
12日(月)～16日(金)中2：新民高級中学短期留学	30日(金)マラソン記録会